

ハレルヤ！

この1年を終えて、間もなく、新しい1年を迎えようとしています。

今、私たちに求められていることは何でしょうか？

1つは、この1年に対して、心からの感謝をささげることです。

2つ目は、新しい1年に向けて希望をもつということです。

今年1年は皆さんにとってどのような1年であったのでしょうか？

約この2年間は、新型コロナウイルス感染症のため、大変、悩まされることが多くありました。

ある意味、多くのものをそぎ落とされるような、奪われるような毎日だったのではないのでしょうか。

「ニューノーマル」「ウィズ・コロナ」という言葉に表されるように、これまでの常識が常識として通らない、新たな考え方を求められ、居心地の悪さを感じることも多くありました。

しかし、私たちの信じる神様は、私たちに一番必要なことを行われる神様です。

私たちのことを一番良くご存じで、私たちに一番よものを与えてくださる神様です。救世軍では今年1年間「主によって練られ、備えよう」という標語を掲げて励んで参りました。

ほんとに、このコロナ禍での歩みは、主の手によって、練って練って練り作り変えられるような日々であったと思います。

私たちが神様の聖潔さに与り、麗しいものとされるためです。

旧約聖書の詩編30編を見てください。

30:01 【賛歌。神殿奉獻の歌。ダビデの詩。】

30:02 主よ、あなたをあがめます。あなたは敵を喜ばせることなく わたしを引き上げてくださいました。

30:03 わたしの神、主よ、叫び求めるわたしを あなたは癒してくださいました。

ある意味、新型コロナウイルス感染症には、敵が攻めてくるような思いにさせられました。

恐怖感にかられる時、私たちは、叫びました。

叫ぶ、私たちが主は引き上げてくださいました。

Hallelujah!

Another year is coming to an end, and we look toward the new year.

What do we need to be doing now?

Firstly, to offer thanksgiving for the past year.

Secondly, to have hope for the new year.

What was the past year like for you?

The last two years have been quite challenging due to covid-19.

It feels like many things were taken away from us.

The phrase like “new normal” requires us to adapt to new way of thinking which could be uncomfortable sometimes.

But our God knows what we need the most.

He knows us thoroughly and gives us his best.

For 2021, Japan Salvation Army had observed the theme of “Set Apart and Be Ready”.

During covid, it did seem like we were being set apart, being purified for transformation.

So that we can be holy and made beautiful.

Let us look at Psalm 30.

A psalm. A song. For the dedication of the temple. Title: Or palace Of David.

1 I will exalt you, Lord, for you lifted me out of the depths and did not let my enemies gloat over me.

2 Lord my God, I called to you for help, and you healed me.

In a way, covid 19 made us feel like we were attacked by the enemy.

In our fear, we cried out to God.

And God lifted us from the depth.

30:06 ひととき、お怒りになっても 命を得させることを御旨としてくださる。

泣きながら夜を過ごす人にも 喜びの歌と共に朝を迎えさせてくださる。

コロナ禍で先が見えないときに、私は、ほんとに明日はやってくるのだろうかと思わされたことがありました。

しかし、私たちは、新しい朝を迎え、来る日も来る日も新しい朝を迎えて歩いて参りました。

30:07 平穏なときには、申しました 「わたしはとこしえに揺らぐことがない」と。

30:08 主よ、あなたが御旨によって 砦の山に立たせてくださったからです。しかし、御顔を隠されると わたしはたちまち恐怖に陥りました。

私たちは、困難な時、「神様」「主よ」と叫び求めますが、のど元過ぎればではないですが、良い状況になると、神様を離れ、自分を中心に考えることが少なくはありません。

30:09 主よ、わたしはあなたを呼びます。主に憐れみを乞います。

30:10 わたしが死んで墓に下ることに 何の益があるでしょう。塵があなたに感謝をささげ あなたのまことを告げ知らせるのでしょうか。

どれほど、私たちは、神様に乞い求めたでしょう。

30:11 主よ、耳を傾け、憐れんでください。主よ、わたしの助けとなってください。と！

30:12 あなたはわたしの嘆きを踊りに変え 粗布を脱がせ、喜びを帯としてくださいました。

今まで当たり前のように過ごしてきた毎日が、一変して、あらゆることが制限され、今までどれほどのお恵みを受けていたかを痛いほどに知らされました。

それだけに、改めて、ひとつひとつを大切に考えるようになったのではないのでしょうか。

私たちの礼拝もその一つです。顔を合わせて挨拶し、共に賛美し、共に祈ること。実際に、礼拝が中止され、オンラインでの参加しかできないときに、これまでの礼拝の恵みがどれほどのものかを知らされました。

30:13 わたしの魂があなたをほめ歌い 沈黙することのないようにしていただきました。わたしの神、主よ とこしえにあなたに感謝をささげます。

まだまだ、先は見えません。オミクロン株による感染の拡大も増した来ています。

5 For his anger lasts only a moment, but his favor lasts a lifetime;

weeping may stay for the night, but rejoicing comes in the morning.

There were moments when I questioned if a new day would come during this uncertain season.

But we were able to face new mornings, day after day.

6 When I felt secure, I said, "I will never be shaken."

7 Lord, when you favored me, you made my royal mountain stand firm; but when you hid your face, I was dismayed.

We call out to God in difficulties, but when things are going well, we have tendencies to turn our face from God and think of ourselves first.

8 To you, Lord, I called; to the Lord I cried for mercy:

9 "What is gained if I am silenced, if I go down to the pit? Will the dust praise you? Will it proclaim your faithfulness?"

How much have we called out to God, like in verse 10,

10 Hear, Lord, and be merciful to me; Lord, be my help."

11 You turned my wailing into dancing; you removed my sackcloth and clothed me with joy,

Our normal changed suddenly with many restrictions placed upon us, making us realize how much blessings we had been receiving

I believe it has helped us to appreciate each blessing with new perspective.

Our worship is one of them. With physical meetings cancelled and shifting to online, it made me realize what a blessing it is to be able to worship and pray with others in person.

12 that my heart may sing your praises and not be silent. Lord my God, I will praise you forever.

We don't yet see the end of it, with new variant spreading now.

そのような中にも、新しい朝を下さる神様に、心からの賛美と感謝をささげて参りたいと思います。

救世軍では、新しい年2022年、「わたしたちを救われる神」という標語を掲げて1年を歩んで参ります。

マタイによる福音書14章には、水の上を歩いておぼれかけたペトロを助けたイエス様のことが書かれています。

14:30 しかし、強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。 14:31 イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、とあります。

今のコロナ禍での私たちは、まさにおぼれかけているペトロのような状態ともいえるでしょう。

「主よ、助けてください」と叫ぶ時に、すぐに手を伸ばして捕まえてくださるイエス様がおられます。すぐにです。

新年に向けて、オミクロン株の感染増大は気にかかりますが、私たちが叫ぶ時に、いや、叫ぶ前から、必ずや手を伸ばしてしっかりと捕まえてくださる神様がおられることを確信し、希望を抱きましょう。

新しく迎える年が、お一人お一人にとって、神様の豊かなお恵みに満たされる年となりますよう、神様の御祝福をお祈りいたします。

But even in the midst of that, let us offer our praise and thanksgiving to God who gives us new mornings.

For 2022, Japan Salvation Army will serve under the new theme, “The God Who Rescues”.

In Matthew Chapter 14, there is a story of Jesus saving Peter from drowning after walking on the water.

14:30 But when he saw the wind, he was afraid and, beginning to sink, cried out, “Lord, save me!” 31Immediately Jesus reached out his hand and caught him.

In midst of pandemic, we may feel like we are drowning just like Peter.

But when we cry out, Jesus is there, reaching out to catch us. Immediately.

We are concerned about the spread of new variant in a new year but let us trust God who reaches out and catches us when we cry out to him. He has hold on us even before we cry out to him

I pray for God’s blessing so that your new year be filled with God’s grace.